

市議会だより

No.240

R8 冬



ねいいね!!

いまの時代、自分からアピールしなきゃ!

福井市



12月定例会
(12月1日～12月18日)

審議事項： 議案47件、報告4件、市会案1件、
諮問1件、請願1件
委員会審査、一般質問
表紙写真：カリフォルニア州立大学フラトン校

編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号
令和8年2月25日



フラトン市は、ロサンゼルス市の東南約36kmに位置し、温暖な地中海性気候と心地良い海風のそよぐ自然条件に恵まれた、南カリフォルニアでも最も美しく、そして繁栄している都市の一つです。



学校訪問 (カリフォルニア州立大学フラトン校、フラトン大学、フラトンユニオンハイスクール)

多彩な実業系のプログラムに関する説明を聞き、いずれも授業の中に将来の就職を意識したカリキュラムが組まれていることなど、日本との教育システムの違いを視察することができました。

また、日本語の授業に参加し、学生との交流を図る事もできました。



フラトン市を訪問して



滞在中は、視察だけでなく、フラトン市長をはじめとする関係者の方々と意見交換をさせていただき、行政運営や議会活動、教育・文化分野での取組について理解を深める機会となりました。

今回の訪問を通じ、これまで両市が築き上げてきた信頼関係の重みと友好の歩みを確認するとともに、今後の交流の継続と発展に向け、有意義な成果を得ることができました。

フラトン市 派遣報告

姉妹都市提携35周年記念事業へ参加するため、11月17日から21日まで議員6名がフラトン市を訪問しましたのでその内容を報告します。

提携の経緯

1980年から民間団体の交流事業として、「福井北ロータリークラブ」と「フラトンサウスロータリークラブ(当時)」間で、学生の相互派遣などが続けられてきました。

1987年11月に開催された福井カリフォルニア展参加のため、フラトン市長一行が福井市を訪れたことから、姉妹都市締結への機運が盛り上がり、1989年11月5日に姉妹都市提携が実現しました。

35周年記念式典

11月18日フラトン市庁舎 議場にて記念式典が執り行われました。

フラトン市議会の議員や行政関係者、多数の市民の立会いのもと、交流を支えてくださった先人への感謝を共有し、協力体制の継続について確認しました。

スピーチでは、堀川副議長がこれまでの交流への感謝と今後の両市の発展への期待を述べました。



堀川副議長によるスピーチ(要旨)

- 2010年以降の訪問であり、姉妹都市提携35周年を記念し訪問できたことに感謝
- これまで継続してきた交流は、国際理解を深める重要な機会であり、意義深い
- 今後も両市の友好と信頼を強化し、実りある関係を継続したい

視察(警察署、消防署、博物館)

警察署・消防署では、市民の安全な暮らしを守るための取組や日々の訓練の様子、また個人情報の取り扱いなどについて、職員から熱心で丁寧な説明を受け、多くの学びや気づきを得ることができました。

また、博物館では、豊富な資料や展示を通して地域の歴史や魅力に触れることができ、大変貴重な機会となりました。



常任委員会視察報告

総務委員会

日程:令和7年10月7日(火)～8日(水)

香川県高松市 : 危機管理体制の強化について
広島県広島市 : 広島市豪雨災害伝承館について

香川県高松市では、東日本大震災を契機に防災・危機管理体制を強化し、防災合同庁舎が整備されました。常設の災害対策本部があることにより迅速な初動対応や情報集約が可能となり、市民向け防災プラザや公式LINEを活用した情報発信・啓発にも力を入れています。

広島県広島市では、被災の教訓を伝え市民の防災意識向上を目的に設立された広島市豪雨災害伝承館を視察しました。住民主体の復興交流の取組を行政が後押しする形で運営されています。リアルな展示や語り部活動を通じ、全国から多くの来館者を集めています。

両市に共通するのは、平時からの備えと行政・市民の協働、地域のつながりを重視した防災・減災の姿勢であり、今後の防災施策に大いに参考となるものとなりました。



高松市



広島市豪雨災害伝承館

教育民生委員会

日程:令和7年10月16日(木)～17日(金)

東京都武蔵野市 : 環境啓発事業について
東京都三鷹市 : 高齢者福祉向上プロジェクトについて
第一生命保険(株): 地方創生に関する包括連携協定について

東京都武蔵野市クリーンセンターは、全国的にも珍しい、市街地に位置するごみ処理施設であるため、最新鋭のプラント設備を導入し、環境保全に配慮して運営されています。また、隣接する「むさしのエコリゾート」は、クリーンセンター建て替えに伴い、旧施設の一部を改修した環境啓発施設で、楽しみながら気候変動やゴミ問題などの環境について学べる施設となっていました。



三鷹市福祉Laboどんぐり山

東京都三鷹市福祉Laboどんぐり山

は、在宅生活を望む高齢者と介護を担う家族、事業者等を支援している施設で、特に生活リハビリセンターでは、利用者一人一人に寄り添うオーダーメイドの支援を行っており、大変参考になる取組だと感じました。

本市と地方創生に関する包括連携協定を締結している第一生命保険株式会社では、他自治体との包括連携協定の内容について成果や今後の展開を伺いました。



武蔵野市クリーンセンター

今回の視察では、本市の施策を進めていく上で参考となる先進事例を学ぶことができました。

建設委員会

日程：令和7年10月20日(月)～21日(火)

新潟県長岡市：除雪対策について

新潟県村上市：流域治水の取組について

新潟県長岡市は、除雪オペレーターの人材確保・育成支援のための施策として、除雪作業に必要な大型特殊自動車免許等の取得経費の補助制度を導入し、若手オペレーターの育成を促進していました。さらに、除雪機へのガイダンス装置やAIを活用した無人除雪機の研究開発に取り組んでおり、今後も改良を重ねて実用化を目指していくとのことでした。



長岡市

新潟県村上市は、令和4年8月に記録的豪雨に見舞われ、一級河川の荒川流域や南部地域で大規模な浸水・土砂災害が発生しました。この災害を契機に、従来の河川改修などの「ハード中心」から、地域全体で被害を軽減する「流域治水」へ転換を進めていました。また、市が独自に「村上市管理河川流域治水プロジェクト」を策定し、市が管理する準用河川42と多くの普通河川を対象とし、地域特性に応じた河道掘削や排水施設整備などを実施していました。「災害を防ぎきる」よりも「被害を減らす」ための流域治水の取組を全市的に推進していました。



村上市

経済企業委員会

日程：令和7年10月22日(水)～23日(木)

兵庫県姫路市：観光戦略プラン・観光振興について

兵庫県西宮市：スポーツを核とした
甲子園エリア活性化事業について

兵庫県姫路市は、観光戦略プランに基づき、世界遺産の姫路城をはじめ多様な観光コンテンツの磨き上げによる魅力向上や、民間事業者を含む地域一体となった観光地の高付加価値化事業などに取り組んでいます。また、令和3年に開館した「アクリエひめじ」は、姫路駅から徒歩10分の好立地で、大中小の3つのホール、約4,000㎡の展示場、会議室およびスタジオを備える大規模コンベンション施設です。この開館を契機に、国際会議などMICE誘致を推進しています。



姫路市アクリエひめじ

兵庫県西宮市は、阪神電気鉄道(株)、三井不動産(株)、武庫川女子大学等とともに「スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会」を令和元年に発足させました。スポーツビジネスの創出や連携のためのプラットフォーム事業や、賑わい創出イベント、女子大生による情報発信などを行い、地域活性化を図っています。



西宮市

今回調査した2市の取組は、本市の今後の観光・スポーツ施策において大いに参考となりました。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14、15ページに掲載しています。

12月定例会

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた令和6年度各会計（一般・特別・企業）決算の認定等について審査するため、10月1日、2日の2日間、決算特別委員会を開催しました。

審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり認定、可決及び認定しました。

なお、各会計の決算剰余金（収支の差額）は、翌年度に繰り越すとともに、その一部を基金に積み立てるほか、翌年度以降の事業の財源としています。

（各会計決算は左記の表参照）

令和6年度 一般会計・特別会計決算総括表

（単位：円）

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	133,427,298,121	130,218,901,390
国民健康保険	21,243,960,127	20,844,037,191
後期高齢者医療	4,723,278,229	4,717,303,180
介護保険	27,129,166,117	26,819,915,895
母子父子寡婦福祉資金貸付	28,080,282	13,097,790
競輪	23,344,889,795	22,566,230,493
産業団地整備	25,060,000	25,058,993
宅地造成	318,556,970	158,908,583
中央卸売市場	861,511,766	861,266,789
駐車場	100,773,095	100,687,906
合計	211,202,574,502	206,325,408,210

令和6年度 企業会計決算総括表

（単位：円）

会計区分	収入	支出	収支
水道事業	5,154,469,068	4,560,963,960	593,505,108
資本的収支	1,085,875,650	3,203,318,157	△ 2,117,442,507
簡易水道事業	278,611,016	286,478,334	△ 7,867,318
資本的収支	262,221,067	329,912,737	△ 67,691,670
下水道事業	10,097,063,359	9,123,431,991	973,631,368
資本的収支	6,098,429,586	9,789,124,004	△ 3,690,694,418
集排水事業	882,610,058	873,726,147	8,883,911
資本的収支	275,374,933	476,580,608	△ 201,205,675

- 収益的収支：（料金収入等）－（サービスの提供に必要な経費等）
- 資本的収支：（企業債等）－（建設改良費や企業債元金償還金等）
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、消費税資本的収支調整額や損益勘定留保資金などで補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

令和7年度補正予算

12月補正予算は、近年の記録的猛暑を踏まえ、前倒しで、全ての児童館のプレイルームで空調を利用できるようにするための環境整備や国の総合経済対策に伴う物価高対策を迅速に実施するために必要な費用として、また、知事の辞職に伴う知事選挙及び県議会議員の補欠選挙を実施するために必要な費用として所要の予算を措置するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で23億9,657万2千円、特別会計で49億1,573万

円、企業会計で4,119万9千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,433億7,287万円、特別会計で895億2,273万円、企業会計で353億7,719万9千円、全会計で2,682億7,279万9千円となります。

※補正予算の概要については、市財政課のホームページを御覧ください。



【主要事業】

I 各種施策を推進するための取組

- ・児童館プレイルーム空調整備事業
- ・放課後児童クラブ設置促進事業
- ・学校給食材料費高騰対策事業
- ・定期予防接種事業（带状疱疹）
- ・ふるさと納税推進事業
- ・ふくい桜まつり×中部縦貫自動車道PRイベント
- ・足羽川桜並木長寿命化事業
- ・スマート・ワークモデル事業

II その他の事業

- ・市施設光熱費高騰対応
- ・国庫補助金等返還金
- ・国民健康保険基金積立金
- ・介護給付費準備基金積立金
- ・福井競輪開催事業等
- ・職員給与費の改定
- ・人事給与・庶務事務システム改修事業

III 債務負担行為の設定

- ・避難所空調設備整備事業
- ・美山地区スクールバス運行事業
- ・ふくい桜まつり開催事業
- ・道路舗装事業
- ・校舎等大規模改修事業
- ・美術館設備更新事業

【指定管理者の指定に伴うもの】

- ・フェニックス・プラザ管理運営事業
- ・少年自然の家管理運営事業
- ・一乗谷朝倉氏遺跡復原町並管理運営事業
- ・自然史博物館分館管理運営事業
- ・東山健康運動公園管理運営事業

IV 国の経済対策に伴う物価高対策事業

- ・物価高対応子育て応援手当支給事業
- ・まんぷく券第3弾（福井米購入応援事業）
- ・ふくいプレミアム商品券（物価高騰対応事業）
- ・障がい福祉サービス事業所への電気料等エネルギー及び食料品価格高騰対策支援事業
- ・介護サービス事業所等への電気料等エネルギー及び食料品価格高騰対策支援事業
- ・私立保育所等への電気料等エネルギー及び食料品価格高騰対策支援事業
- ・農業水利施設電気料高騰対策緊急支援事業

V選挙の執行に伴う経費
・県知事選挙・県議会議員補
欠選挙（福井市選挙区）

人事案件

○教育委員会委員

令和7年12月23日をもって任期満了となる委員の後任として、清川卓二氏を任命することに同意しました。

○公平委員会委員

令和7年12月23日をもって任期満了となる清水則明氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

○固定資産評価審査委員会委員

令和7年12月21日をもって任期満了となる勝田輝氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。



委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
（委員会終了順に掲載）

決算特別委員会



《土木費について》

問 道路や河川、水道などに
関して住民からの要望が
非常に多いが、なかなか前に進
んでいかない。令和6年度の一
般会計決算の収支を見ると、土
木費をはじめ全ての費目にお
いて、かなりの額の黒字となっ
ているが、市としてこれだけの
黒字を出す必要はなく、その分
市民からの様々な要望にもつ
と応えるべきではないか。

答 6年度の実質収支は約22
億5,000万円の黒字
であったものの、今年度の補正
予算の財源の一部として充当
する必要があるため、決して余
裕がある額というわけではな
い。5年度も実質収支は20億円
程度の黒字であったが、これを
6年度の歳入に組み入れ、1年
を通して除雪や扶助費の増額
分など補正予算に充てるため
に必要な財源とした。道路など
の要望が増えていることに対
しては、インフラの老朽化や工

事単価の増加の問題もあり、財
源全体を見ると対応が難しい
ところもあるが、これらのこと
も踏まえながら、予算編成の中
でしっかりと考えていきたい。

《教育用コンピュータ整備 事業について》

問 この事業にはネットワー
クの保守管理など様々な
内容が含まれていると思うが、
特に児童生徒がタブレットをス
ムーズに使用できるように、
Wi-Fi等の学校の通信環境
について、令和6年度の整備状
況はどのようになっているのか。

答 既に通信環境は整備して
いるが、学校からは
Wi-Fiがつかないことを聞い
ていた。そのため、学校にはそ
の都度、持ち運びが可能な移動
式のルーターを使用してもら
っており、それでもつながらに
くい場合は、担当職員が学校ま
で出向き、LANケーブルの差
込口、いわゆる情報コンセント
から通信ケーブルを引くなど
の対応を行っている。

要望 大規模校では多くの児童
生徒が同時に使用するこ
とで通信速度が遅くなった
り、Wi-Fiがつかなくな
り、という状況が発生すること
があるので、早急に改善をお
願ひしたい。

《未来を拓く奨学金返還支 援事業について》

問 令和6年度は認定件数を
90件と見込み、予算計上
していたものの、実際の認定件
数は12件であった。まず、この
事業に関する相談件数はどれ
ぐらいあったのか。また、相談
者に対して、制度利用に至らな
かった理由を聞き取ることで、
この制度がさらによいものと
なるのではないか。

答 制度利用に至らなかった
理由については特に聞き
取っていないが、この制度は新
卒者のほか、既に大学等を卒業
されている方でも申請が可能
となっていることから、6年度
の問合せ件数としては全体で
約150件あった。しかしなが
ら、既卒者の中には既に本市に
住んでいるなど、問合せ時点で
対象要件を満たしていない方
が多数おり、結果として認定件
数が12件にとどまった。

要望 そのような方も対象にでき
ないかという検討も含め
て、制度の拡充を考えてほしい。

みちづくり・ひと づくり・まちづくり 対策特別委員会



《アリーナ整備に係る市関 連事業のロードマップ等 について》

問 これから20年先、30年先ま
で実際にアリーナの継続
的な運営ができるのか懸念さ
れるところであり、整備を担う
株式会社福井アリーナが30億
円もの融資の返済を確実に
行い、健全な運営を行っている
のか、また、運営を担う株式会
社Fプライマルがしっかりと効率的
な運営を行っているのか、一
番の肝だと考える。収入や借
入、返済など資金計画について
これなら大丈夫だという説明
がなされていないが、どのよう
な認識を持っているのか。

答 商工会議所がこれからし
ていくとのことであり、民間側
の借入れの状況などもしっか
りと確認するようにとの市議
会4会派からの申入れに対し
ては、市としてもその状況を確

認するとともに、金融機関とも
ようやく接触できるようにな
ってきたことから、しっかりと
話を聞き、民間側の状況を見極
めながら進めていきたい。

要望 前回の特別委員会でも、事業
費は150億円と聞いた
が、資材が高騰する中、本当に
その計画でできるのかといっ
た声もある。そのため、今後も
商工会議所に対してはしっか
りと確認するなど、随時協議を
行っていたきたい。このこと
については、県にも責任を持っ
てもらう必要がある、しっか
りと3者で合意形成を図った上
で進めてほしい。

平日の利用で1日1,400台
前後、休日の利用で300台前
後であり、稼働率は、平日が70
%程度で、休日が40%程度とい
う状況である。大手第2駐車場
については、1日当たりの稼働
率などの統計は取っていない。

要望 大手第2駐車場は、大手駐
車場に比べ、稼働率がかな
り低いのではないかと思われ
る。次期指定管理期間では、大
手第2駐車場も稼働率の統計
を取るとともに、近隣に開業予
定のビジネスホテルと提携す
るなど稼働率のアップにぜひ
取り組んでほしい。

建設委員会



《福井市自動車駐車場の指
定管理者の指定について》

問 大手駐車場の利用台数は
1日平均約1,000台、
大手第2駐車場は約220台と
のことだが、それぞれの駐車場の
駐車可能台数と比較すると、
稼働率はどれくらいになるのか。

答 駐車可能台数は、大手駐
車場が264台、大手第
2駐車場が102台である。ま
た、大手駐車場の駐車台数は、

総務委員会



《福井市職員の給与に関する
条例及び福井市一般職の任
期付職員の採用等に関する
条例の一部改正について》

問 一か月当たり5千円を上
限とする駐車場等の利用
に関する通勤手当を新設する
とのことだが、かつて自分が所
属していた勤務先では、通勤の
際、自家用車の利用を控え、で
きるだけ公共交通機関を利用す
るようにとの指導があり、自分
もそれに従っていた。今回、新た
にその手当を設けることで、逆

に自家用車での通勤を推奨、あ
るいは公共交通機関を利用し
なくてもよいという風潮にな
ってしまうのではないのか。

答 市中心部の駐車場代は、
おしなべてこの手当上限
の5千円で全額賄えるもので
はないことから、現在、公共
交通機関を利用して通勤して
いる全ての職員が自家用車で
の通勤に移行することはない
と考えている。

要望 少なくとも本庁舎で勤務す
る職員に対しては、できる
だけ公共交通機関を利用して通
勤するよう指導してもらいたい。

経済企業委員会



《福井市自然史博物館分館の指
定管理者の指定について》

問 一乗谷朝倉氏遺跡復原町
並も含め、新幹線開業に
よる県外からの観光客や若者
をさらに呼び込むためには、も
っと指定管理料を増額し、より
魅力ある施設にしていくな
必要があるのではないのか。

答 一乗谷と街なかは、福井
市にとって大変重要な観
光エリアであると考えており、

それぞれの施設の効果的
な活用、魅力度アップのため、
指定管理者に管理をお願いし
ている。そのうち、復原町並に
ついては、主に施設の維持管理
にかかる費用として指定管理
料をお支払いしている。このほ
か、指定管理者には様々なイベ
ントの開催などを委託してお
り、その費用は別途負担してい
る。セーレンプラネットにつ
いても、指定管理者を選定する際
、事業者から様々な素晴らしい
提案をいただいていることか
ら、事業者がそれをしっかりと
実行しているか注視していく。
また、本市としてもセーレン
プラネットを盛り上げていける
ようなプラスアルファのイベ
ントが必要であれば、その都度
予算計上しながら対応してい
きたい。

教育民生委員会



《福井市少年自然の家の指定
管理者の指定について》

問 第2期指定管理者募集に
あたり、なぜ応募が1者し
かなかったのか。

答 正確な理由は不明である
が、まず募集にあたって
は、地元の雇用創出や地域経

済の振興と併せて、これまで
行われてきた地元との密接な
連携を期待して市内の事業者
に限定した。また、今回選定
された株式会社ナイガイが1
期目の運営において、地元か
ら高く評価され、実績を上げ
ていることから、他の事業者
は応募を見送ったのではない
かと考える。

意見 他の施設の指定管理者の
募集でも1者しか応募が
ない案件があるが、過去の類似
施設の管理運営業務の請負実
績が応募要件に含まれること
で、新規での応募がしにくいの
ではないか。

問 1期目に比べて2期目の
指定管理料が減額されて
いるが、その算定金額は妥当
なのか。

答 1期目の指定管理期間に
おいては、近年の燃料費や
物価高騰により支出は増加し
ているものの、事業者の努力も
あり利用者数が非常に増加し、
利用料収入が増えている。この
ことを見込んで、2期目の指定
管理料は、1期目に比べて減額
した。したがって、2期目の指
定管理料は適正に算定したも
のと考えている。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、12月8日から10日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

① 皆川 信正 (一真会) 1 杉本知事辞職に関連する市政への影響について 2 アリーナ構想について 3 文化会館について 4 通称フェニックス通り新木田～花堂北の県道拡幅事業について	⑧ 村田 耕一 (市民クラブ) 1 人口減少における施策について 2 本市におけるこれからの地域のあり方について(コンパクト・プラス・ネットワーク)	⑬ 葛野 早智代 (一真会) 1 市長ビジョンと文化芸術の方向性について 2 流域治水について 3 多文化共生について
② 堀江 廣海 (一真会) 1 まちづくりについて	⑨ 奥島 光晴 (新政会) 1 人口減少対策の一考察について 2 小・中学生の不登校について 3 足羽山公園、本市の桜並木の更なる活性化について	⑭ 八田 一以 (一真会) 1 福井市の文化芸術振興について
③ 宮岡 勝也 (市民クラブ) 1 福井市の象徴不在による都市ブランドの弱さと今後の戦略について 2 福井市農業の6次産業化と「稼げる農業モデル」の構築について 3 部活動地域移行における負担増・格差の是正と柔軟な運用について 4 重度化を防ぎ、介護財政を守る「逆介護保険制度」導入の検討について 5 福井市地域交通の再設計について	⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党) 1 高市政権の軍拡と暴走について 2 アリーナ計画への市民意識について 3 地域に根ざした生鮮食料品店への支援について 4 路線バスの維持とサービス向上のための施策について	⑮ 近藤 實 (無所属) 1 財政運営について 2 福井アリーナ整備・運営について 3 ふれあい公社への退職金補助3,730万円と西行市長の経営責任 4 下水道事業経営戦略2026(素案)について
④ 野嶋 祐記 (新政会) 1 北陸新幹線延伸について 2 アリーナ構想について	⑪ 下畑 健二 (公明党) 1 市長ビジョンロードマップの進捗について 2 学校の英語教育について 3 健康ふくふくプラン21の進捗について	⑯ 漆崎 與 (一真会) 1 スロベニア共和国クラン市との交流について 2 本市の財政状況と予算編成方針について
⑤ 高田 稔浩 (市民クラブ) 1 安心して妊娠・出産を迎えるための遺伝カウンセリングについて 2 貸切(観光)バス車両のバリアフリー化推進について 3 福井市障がい者自立支援協議会の体制見直しについて 4 ふくい桜マラソン2026に出場する車いすランナーについて	⑫ 佐野 弘 (一真会) 1 元気な子どもたちを育む環境づくりについて 2 脱炭素に向けた取組について 3 移住定住支援について	⑰ 岩佐 武彦 (無所属) 1 クマの出没に伴う緊急銃猟について 2 観光振興と魅力あるまちづくりについて 3 高齢者に優しいまちの実現について 4 令和7年度12月補正予算案について
⑥ 津田 かおり (公明党) 1 物価高騰対策について 2 防災対策について 3 元気な高齢者の活躍と「スクーター」導入について 4 不登校対策について	⑬ 寺島 恭也 (一真会) 1 相続登記義務化による空き家対策について 2 中学校における休日部活動の地域移行に伴う学校体育施設開放について	⑱ 今村 辰和 (一真会) 1 美山地区の簡易水道事業について 2 民生委員の人選について 3 緊急銃猟制度について 4 防火水槽の設置について
⑦ 見谷 喜代三 (一真会) 1 農業政策について 2 市内ソフトボールグラウンドの現状と今後の維持管理及び利活用について	⑭ 菅生 敬一 (公明党) 1 家庭用照明器具のLED化について 2 自転車利用環境の整備について 3 雨水の利用について 4 J-クレジットについて	⑲ 青木 幹雄 (一真会) 1 生成AIの運用について
	⑮ 浦上 逸人 (一真会) 1 財政について 2 産業振興について 3 業務改善の取組について	⑳ 山田 文葉 (日本共産党) 1 補聴器購入への助成制度について 2 ケア労働者への福井市独自の助成制度について 3 不登校対策について 4 医療費4兆円削減について

各議員の一般質問要旨は、10ページから14ページに掲載しています。

一般質問要旨



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

アリナ構想東公園土地貸付契約について市長の見解を求める

質問

アリナ建設予定地の東公園を市は無償貸付の予定だが、賃借契約相手は事業主導の福井商工会議所八木会頭であるべきだ。福井アリナや運営会社では倒産した場合、責任能力が無い。事業終了後、30年後の更地での返還も明記すべきと考えるが市長の見解は。

回答

建設予定地の東公園の一部無償貸付に当たり、都市計画変更手続や地元理解の状況を踏まえて議会の同意を得たいと考えており、慎重に進めるべきものと考えている。

貸付相手は福井商工会議所と調整中であるが、福井アリナの実質的な経営責任は、現段階では商工会議所が担う予定であることから、契約相手としての適性はあると考えている。9月定例会で答弁したとおり、貸付の協議の中で、更地での返還についても協議していく。また、議会での議決も必要になるため、その中でしっかりと説明していきたい。



ほりえ ひろみ

堀江 廣海 議員

一真会

まちづくりについて

質問

令和8年度当初予算編成に当たってどのような成長戦略を描き、経済対策を念頭に置いているのか、市長の考えを伺う。

回答

市長ビジョンの中でも、特に重点的に取組を進めている北陸新幹線福井開業効果の持続化・最大化については、令和8年度も最重要課題となる。単に一度性の観光誘客効果にとどまらず、関係人口の増加や地元雇用の創出、地域経済の活性化など幅広い波及効果が期待されており、本市の成長の核となるものと考えている。そのため、子育て・教育環境などに代表される全国トップレベルの住みよさの発信や企業誘致などの取組を継続的かつ着実に進め、市内の隅々まで効果を波及させることも、道路や河川などの社会資本の整備に十分に力を注ぐことで、本市をさらなる高みへ成長させ、市民の皆様にも豊かさを実感していただけるまちづくりを進めていく。

一方で、昨今の物価高騰やエネルギー価格の上昇は市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしている。市民の生活を守るため、状況に柔軟に対応し、必要な支援を実施することも重要な経済対策の一環であると考えている。



みやおか かつや

宮岡 勝也 議員

市民クラブ

福井市の象徴不在による都市ブランドの弱さと今後の戦略について

質問

近隣自治体を見渡すと、それぞれが全国に誇れる強力な象徴を持っている。例えば、勝山市は恐竜、坂井市は東尋坊、あわら市は温泉などがある。しかし、福井市はこれだという象徴が弱い。福井市の都市ブランドの核となる象徴を今後どのように構築するか。

回答

本市としては、今は「〇〇」と言えば福井が生まれてくる前段階に在るものと認識し、例えば、ロケーションを生かした越前海岸の魅力アップや福井ブローウィンズなどのスポーツコミッションの推進、三里浜オリーブや金福すいかなど農林水産物のブランド化、世帯あたりの支出額が全国トップクラスの焼き鳥や餅文化の発信などに幅広く取り組むとともに、観光データ等により人々の福井市に対する思いやニーズ、魅力に思ふものなどの分析を進め、オール福井で推し出すことができる都市ブランドの確立を目指していく。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

新国会

アリナ構想について

質問

建設費150億円、最大でも160億円とのことだが、その金額で2027年からの工事着手は大丈夫か。今後事業費の上振れが生じても、新しい地方経済・生活環境創生交付金が総額60億円で、市負担15億円は、それ以上の負担はないか。覚書を交わしてはどうか。

回答

福井アリナは建設費を150億円と見込み、その範囲内で設計を進めていると理解している。今後、上振れの可能性が見込まれる場合も、予定どおり2027年3月までは工事に着手すると理解している。県、市ともに新しい地方経済・生活環境創生交付金、いわゆる第2世代交付金を活用し、アリナ整備費に関して国が30億円、県、市ともに15億円、合計60億円の支援を考えている。改めて覚書を交わす予定はないが、整備費について県、市ともに交付金以外にさらなる追加支援を行うことは考えておらず、その旨は福井アリナにも伝えており、理解を得ている。



たかだ としひろ

高田 稔浩 議員

市民クラブ

安心して妊娠・出産を迎えるための遺伝カウンセリングについて

質問

市内で、認定遺伝カウンセリングラーがおられる医療機関は、どこにあるのか。また、プレコンセプションケアだけでなく、認定遺伝カウンセリングラーに気軽に相談できる環境が必要と思われるが、市の所見を伺う。

回答

認定遺伝カウンセリングラーは、福井赤十字病院に配置されており、月に1回、遺伝に関する悩みや不安に対するカウンセリングが行われている。また、福井県立病院では、資格は異なるが、日本遺伝カウンセリング学会等が認定する臨床遺伝専門医を配置している。

遺伝に関する悩みや不安がある方は、主治医に相談の上、必要に応じて、それらの専門の医療機関でカウンセリングを受けていただく流れとなる。今後、疾患に関する理解を深めていただくとともに、主治医に相談すること、専門的な相談機関につながることにしても広く周知していく。

防災について



つだ
津田 かおり 議員
公明党

質問

本市として「スファイア基準」をどのように避難所運営に取り入れ、段階的に改善していくのか。

取組の優良事例集を作成し情報共有の仕組みを整備することが、自主防災組織のレベルアップと意識向上につながるかと考えるが、本市の所見は。

回答

本市としては、スファイア基準を踏まえた国のガイドラインに基づき、携帯トイレ、食料、毛布等、72時間分の最低必要量を、ここ数年のうちに整備するとともに、民間企業等との災害時応援協定等を活用することにより、避難所運営の改善を図っていく。

これまで、自主防災組織連絡協議会リーダー研修会等で、自主防災組織の活性化や災害時における地域の自助、共助の強化に向けた具体的取組の参考となるよう、市内の優れた事例を紹介している。

今後は、優良事例や各種研修会の資料も、より多くの方が情報共有できるよう、ホームページ等で公開していく。

農業政策について



みたに きよひろ
見谷 喜代三 議員
一真会

質問

農業とこども食堂とが連携した取組の概要とそのねらい、取組むこととなった経緯は。また今後の本事業の展望について伺う。

回答

この取組は、農家から規格外野菜の提供を募り、その情報をこども食堂運営者に共有し、マッチングした場合に直接受渡しを行うという仕組みで、こども食堂運営者の経済的負担を軽減し、農家の規格外野菜の処分費用を削減すること等にねらいがある。

こども食堂運営者から、野菜や米の価格高騰により、食料の確保に苦慮しているとの意見が寄せられたことから、若手職員が中心となって本取組を企画した。

現在の食料品をはじめとする物価高騰は、多くの市民、とりわけ生活に経済的困難を抱える方々に大きな影響を与えていることから、今後、新たに生活困窮者への食糧支援を行う団体と意見交換しながら、本事業の対象を広げることとを前向きに検討していく。

これからの地域のあり方について



むらた こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

質問

地方都市が地域活力を維持するためには、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりにより、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を図る必要がある。まちなかの移動としてシェアサイクル「ふくチャリ」があるが、現状と課題、今後の取組について伺う。

回答

ふくチャリは、本市が主体となり電動アシスト自転車102台、駐輪ポート19か所を設置し運営している。令和7年度の利用は、11月30日時点で、令和5年3月の運用開始後、過去最多の25,319回を記録している。

ふくチャリは、市民の足として定着し、二次交通の一翼を担いつつあることから、現在設置しているふくチャリや駐輪ポートの維持・管理が、これからの課題である。

今後は、都市計画マスタープランの地域拠点である鉄道駅や商業施設等において、さらなるふくチャリの設置を検討していく。

人口減少対策の一考察について



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

質問

子育て世代への経済的な支援は大事なことであるが、それだけでは充分ではない。結婚の意義や楽しさ、学生の時からライフデザインを描く重要性等、日本全体の意識啓発や機運醸成を推進すべきではないか。

回答

本市では、高校生や大学生を対象に、福井で働く社会人ゲストから仕事のやりがいや、Uターン就職・転職のきっかけなどについて、話を聞いて将来設計を考えてもらうライフデザイン出前講座を実施している。今年度は11月末時点で、大学、短期大学、高校などで計6回開催し、181名が参加している。

このほか、今年度新たに、Z世代の若者が結婚生活を営む家庭を取材し、SNSで発信する事業に取り組んでいる。Z世代が自分たちの目線で気付き、結婚の楽しさや魅力を発信することで、結婚に向けた機運醸成を図っていきいたいと考えている。

アリーナ整備は市民の声聞き直せ



すずき まさき
鈴木 正樹 議員
日本共産党

質問

アリーナ整備に対して市民からの声は厳しい。アリーナ整備に市民や周辺住民からの理解や賛同が十分得られていないのでは？市民や周辺住民から十分な理解や賛同なしに都市計画の変更やアリーナ整備を進めなければならないのでは？

回答

地元の旭地区において説明会を16回実施してきたが、市民全体に対する説明、御理解は十分でない部分もあると考えている。このため先月から市内ショッピングセンターにおいて説明会を2回実施し、それぞれ400名以上が参加された。引き続き旭地区以外の方にも御理解いただけるよう周知・広報に努めている。

都市計画変更の手続きについては、令和6年11月の経済界による事業検討の延長を受け、手続きについても延期している。その後、経済界から新たな事業計画案が示されたことを受け、地元住民への丁寧な説明や意見交換を充実させることで、より多くの地域住民の方の御理解が得られる機会と捉え、取り組んでいる。



プレコンセプションケア（妊娠前ケア）の取組について

質問

福井市は若い女性の痩せの割合や低出生体重児の割合が増えている。若い世代の健康を増進し、将来の妊娠や生まれてくる赤ちゃんの健康に繋がる相談窓口などの取組について考えを伺う。

回答

まず、こども家庭センターを、妊娠前から適正な健康管理に関する相談ができる身近な窓口として、体制の充実並びに周知を図るとともに、引き続き市ホームページ等を通じてプレコンセプションケアに関する市民への情報発信を行っていく。

さらに、保健師や助産師など専門職を対象に、その中核となるべき人材、プレコンサポーターを養成するほか、地域や地元企業と連携して出前講座等を開催し、特に、これから結婚、妊娠、出産という大きなライフイベントを視野に入れる世代を中心に、自らの健康保持の重要性を認識していただくよう取り組んでいく。



移住定住支援について

質問

人口減少で人材不足が深刻化する中、本市の移住支援金の受付は早期（8月）に満了した。今年度の交付実績と次年度の予算拡充の考え方、さらに移住促進に向けた情報発信強化の方針について伺う。

回答

今年度の実績としては、東京圏型は6件、全国型は63件の交付を決定している。なお、9月以降に移住支援金の相談を受けた方で、支給要件を満たす場合は、次年度の受付で対応する予定である。次年度の予算規模については、今年度の実績を考慮し、予算編成の中で検討していきたい。

さらに次年度は、これまでの取組に加え、首都圏における本市への移住促進を目的としたセミナーの実施や、移住検討者からの相談や定住後のフォローなどを強化し、移住定住のさらなる促進を図っていく。また、若年女性を対象とした情報発信など、ターゲットを明確にした効果的な移住促進PRにも取り組んでいく。



中学校における休日部活動の地域移行に伴う学校体育施設開放について

質問

地域移行が進むにつれ、平日夜間にも学校体育施設を利用したい地域クラブが増加することが予想される。体育施設は、既に多くの社会体育団体が利用しており、本市として、優先順位や利用を今後どのような考え方で整理・運用していくのか。

回答

本市では、今年度末をもって休日の中学校部活動を終了する。地域移行が進む中で、地域クラブが休日だけでなく、平日夜間に学校施設を利用することも考えられる。そのため、まずは次年度からの休日の部活動終了後の、地域クラブの活動状況をしっかりと把握していく必要があると考えている。

現在、平日は19時までが部活動、19時以降が学校開放となっている。今後、地域クラブが平日夜間にどのような活動を希望するかについてニーズ調査を行い、その状況に応じて、貸出方法や調整の在り方を検討していく。



Jークレジットについて

質問

脱炭素の取組を促進させる制度としてJークレジット制度がある。これは温室効果ガスの削減量をJークレジット化して売買できる制度だ。福井市の参画状況と今後の取組方針はどうか。

回答

本市では、福井市脱炭素アクションプランに基づき、地域の脱炭素化を加速させる手段として、Jークレジット制度の活用に向けた具体的な検討を進めてきた。

今年度は、市立図書館の太陽光発電設備による温室効果ガス削減分について、Jークレジット化の取組に着手し、Jークレジットが認証・発行されれば収益が発生する見込みである。また、本市の森林を活用した取組について、Jークレジット制度認証委員会に申請を行い、登録が完了しているところである。

今後、温室効果ガス削減分を率先してJークレジットとして認証・活用し、得られた収益については、さらなる脱炭素に関する施策の費用として有効に活用していく。



除雪業務について

質問

除雪業務では、携わる職員の働き方改革を進め、市民協働による除雪を進めていく必要がある。自治会などの要望があった場所にスコップを設置してはどうか。

回答

本市では、スコップ設置に代わる自助、共助の取組として、「雪国の快適生活7カ条」を用いた情報発信や、市道の除雪を自治会にお願いする道路除排雪事業協力金や小型除雪機購入補助金などにより、市民協働による除雪に対する支援を行ってきた。大雪時などは公助だけでは行き届かないこともあるため、自助、共助による市民一人一人の御協力が重要であると認識しており、今後もこれらの取組について周知していく。

また、本年度より、通話録音機能装置を備えた電話機を除雪基地に設置することとした。この機器の設置効果などを検証し、今後の更なる市民サービスの向上に繋げていく。



くずの さちよ

葛野 早智代 議員

一真会

市長ビジョンと文化芸術の方向性について

質問

市長が掲げる新ビジョンの下、この秋にダン☆スタFUKU2025と障がい者芸術文化祭が盛大に行われた。その評価と、今後の文化振興事業における環境作りについてどのように考えているか。

回答

ダン☆スタFUKU2025は、市内外からダンサーが参加し、複数の会場で様々なダンスを繰り広げ、来場者も合わせ延べ6,000人が賑わいを堪能した。また、成果があつたと考えている。障がい者芸術文化祭は、市内外から約2,500名が来場し、障がいのある人もない人も誰もが参加しやすく、ともに創り上げ、一緒に楽しめるイベントとなり、成功裏に終えることができた。

本市としては、誰もが文化芸術を楽しむことができるまちづくりが重要と考えている。文化施設を発表の場として利用したく、機会が広がるよう努め、幼児、小学生及び障がいのある方を含めた文化芸術活動を支援していく。



はった いちい

八田 一以 議員

一真会

福井市の文化芸術振興について

質問

岡倉天心は、福井市民にとって、偉大な先人である。歴史の見えるまちづくり協会と岡倉天心福井県顕彰会とが、相互に連携することで、さらに岡倉天心の普及啓発活動が進むよう、福井市として、二つの団体が連携できるように調整願う。

回答

歴史の見えるまちづくり協会は、岡倉天心を紹介するパンフレットの作成や、ゆかりの地を歴史マップに掲載するなど、顕彰活動を行っている。また、岡倉天心福井県顕彰会も、岡倉天心の業績を顕彰するほか、天心の遺志を未来へつなげる活動を行っている。団体で、毎年中央公園で顕彰祭を開催したり、子どもたちへの取組を行っている。今年度は、本市で岡倉天心サミットを開催し、天心の功績を広く市民に紹介いただけたことである。

福井にゆかりのある偉人を顕彰することを共通の目的とする両団体が、連携して顕彰事業等に取り組まれることは、歴史文化を理解する上で有意義であるため、本市としても、さらなる連携した事業が展開できるように働きかけていく。



こんどう みおる

近藤 實 議員

無所属

ふれあい公社への退職金補助3,730万円と西行市長の経営責任について

質問

退職給付引当資産はR6年度にH30年度より108百万円減少している。引当金を計上せず当期経常増減額の赤字を少なく見せるように粉飾している。

また、退職金補助は資金不足によるもので、H30年度からR5年度の理事長である市長は経営責任を取るべき。

回答

ふれあい公社の近年の経営状況は、市からの公共施設管理業務の縮小や新型コロナウイルスの影響による利用者の減少、電気料金などのエネルギーコストや物価の上昇、人件費の急激な増加など、外的要因もあり厳しい状況である。また、介護サービスでは、市民の生活を支えるために、収益性の低い事業にも積極的に取り組んできたことが背景にある。これもやむを得ない事情と言える。こうした困難な状況でも、健康運動施設での講座の充実や、介護事業所での報酬加算の取得など、様々な工夫を凝らして、収益向上に努めており、経営責任を問うべき性質のものではないと考えている。



うるしざき あたえ

漆崎 與 議員

一真会

スロベニア共和国クラン市との交流について

質問

今回の姉妹都市締結で盛り上がるように、この盛り上がりは、一過性のものとすることがなく、クラン市と福井市が一緒に進んで今後の相互交流の推進に取り組んでいただきたいと考えるが、クラン市との姉妹都市締結への市長の思いを伺う。

回答

本協定締結は、東京オリンピックのホストタウンで得たスロベニア共和国とのつながりを、次の交流へとつなげていくため、当時の駐日スロベニア共和国大使から、故郷のクラン市を紹介いただいたことが契機となつていて、今後は、両市の信頼関係をさらに高め、レベルの高い交流をさらに広げ、市民の交流や文化分野での事業の実施に向けた準備を進めるほか、観光・文化分野での交流も積極的に推進していく。そして、クラン市の協力をいただき、これらの取組を通じて、市民の魅力をより一層の活性化に努めていく。



いわさ たけひこ

岩佐 武彦 議員

無所属

朝倉氏遺跡の磨き上げについて

質問

朝倉氏遺跡の世界遺産登録に向け、市としてどのようなステップを描き、どのように磨き上げを進めようとしているのか。

また、遺跡を「見るだけの遺跡」から「体験し、学び、滞在するための場所」へと進化させているのか。

回答

朝倉氏遺跡は、国内でも屈指の中世都市遺跡で、海外でも非常に高い評価をいただいている。遺跡としての学術的価値や魅力を広く解りやすく、周知していくことが重要である。民衆と一体となつて遺跡の磨き上げを行っていく。また、官庁並みでは、武士や町人の着付け体験や、AR・VR技術の活用し、遺跡内の建物や町並みを見学する体験や学べる環境の充実に取り組んでいる。

さらに、朝倉・永平寺ダイレクトバスや遺跡内を周遊する唐門号を運行し、来場者の回遊性を向上に努めている。今後も、朝倉氏遺跡と、さらに魅力ある特別史跡となるよう、観光振興と遺跡の保存・活用の両立を図っていく。

民生委員の人選について

質問

民生委員は、地域に寄り添い、行政や福祉の専門機関と連携しながら重要な役割を担っている。令和7年は3年に一度の委員の改選が行われるが、現時点で欠員となっており、民生委員の不足の対応策について伺いたい。

回答

民生委員の担い手不足が深刻化している背景には、高齢化や地域コミュニティの希薄化に加え、定年制の廃止などにより地域活動に関わる時間を減らす傾向がある。民生委員の活動の専門性や社会的な拘束など、職責の重さも大きな要因となっている。民生委員のさらなる負担軽減のため、福井市民生児童委員協議会とも連携しながら、民生委員の実情を把握し、体制を構築していくほか、必要に応じて、地域の理解と協力を得ながら、地域活動における委員負担の軽減につながる方策を講じていく。また、本市の福祉総合相談室「よりそい」や地域包括支援センターなどの相談支援機能の連携を強化し、委員が活動できる環境を整えていく。



いまむら しんかず

今村 辰和 議員

一真会

生成AIの運用について

質問

現在は史上最大のAIブームと言われているが、当市の現在の利用状況や将来に係る例えば自動運転やドローン技術、教育分野での状況は？

回答

本市では、令和6年2月に福井市生成AI利用ガイドラインを策定し、通知文やあいさつ文の下書き、企画のアイディア出し、文章の校正や要約などで、生成AIの活用を図っている。自動運転については、部局横断チームで調査研究し、先進地の事例や自動運転事業者への聞き取りなどを通じ、技術や導入コストなどの課題把握を行っている。また、ドローンについては、災害時の情報収集や橋梁点検、スマート農業などで活用を図っている。教育分野では、1人1台タブレット端末が導入されたことで、児童生徒の意見の集約と共有が容易になり、児童生徒が、自らの考えを深めたり、新たな考えに気づいたりする機会が創出されている。また、録音機能を使うことで、自らの進捗に合わせた学習が可能となり、子どもたちの学び方や学校での学習が変化してきていると考えている。



あおき みきお

青木 幹雄 議員

一真会

補聴器購入に対して福井市でも助成制度を

質問

難聴は徐々に進行し自分では気づきにくい。ため70歳の健診項目に聴力検査を入れるべき。難聴対策として補聴器購入に助成制度がある自治体は526にまで広がっている。認知機能低下の抑制効果も明らかになっている補聴器購入に福井市でも助成制度を作るべき。

回答

補聴器購入への助成に関して、加齢性難聴は、全国的な課題であるため、地域差のある対応ではなく、全国一律の支援を確保し、自治体間の格差を是正する必要がある。そのため、令和4年度から継続して、全国市長会から国に対して、助成制度の創設に関する要望を行っている。現在、国においては、高齢者の補聴器使用が、認知機能や生活の質の向上に、どのような影響をもたらすのかを、科学的に検証する研究が進められている。こうした調査研究の結果を踏まえ、知見を有する国が、助成に関する方針や基準を設けたうえで適切に実施することが必要であり、市単独で制度を創設することはない。



やまだ ふみは

山田 文葉 議員

日本共産党

(12月定例会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第66号議案	令和6年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	12月1日	認定	
第67号議案	令和6年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	
第68号議案	令和6年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	//	認定	
第69号議案	令和6年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	
第70号議案	令和6年度福井市集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	
第71号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	12月18日	原案可決	●
第72号議案	令和7年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	//	//	
第73号議案	令和7年度福井市介護保険特別会計補正予算	//	//	
第74号議案	令和7年度福井市競輪特別会計補正予算	//	//	
第75号議案	福井市行政手続条例等の一部改正について	//	//	
第76号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	//	//	
第77号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	//	//	
第78号議案	福井市火入れに関する条例の一部改正について	//	//	
第79号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	//	//	
第80号議案	福井市学校設置条例の一部改正について	//	//	
第81号議案	工事請負契約の締結について(市庁舎設備棟新築に伴う電気設備工事)	//	//	●
第82号議案	工事請負契約の締結について(森田中学校給食室等増築・長寿命化改修工事)	//	//	
第83号議案	工事請負契約の締結について(森田中学校職員室等増築・長寿命化改修電気設備工事)	//	//	
第84号議案	財産の取得について(木田小学校給食室用厨房機器一式)	//	//	●
第85号議案	フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定について	//	//	
第86号議案	福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の指定管理者の指定について	//	//	
第87号議案	福井市自然史博物館分館の指定管理者の指定について	//	//	●

(12月定例会)		議案等の審議結果			賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
議案番号	件 名	審 議 結 果			
第88号議案	福井市自動車駐車場の指定管理者の指定について	12月18日	原案可決		●
第89号議案	福井市東山健康運動公園の指定管理者の指定について	//	//		
第90号議案	福井市少年自然の家指定管理者の指定について	//	//		●
第91号議案	鯖江広域衛生施設組合の規約の変更及び財産処分について	//	//		
第92号議案	福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について	//	//		
第93号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	//	//		●
第94号議案	令和7年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	//	//		
第95号議案	令和7年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	//	//		
第96号議案	令和7年度福井市介護保険特別会計補正予算	//	//		
第97号議案	令和7年度福井市競輪特別会計補正予算	//	//		
第98号議案	令和7年度福井市宅地造成特別会計補正予算	//	//		
第99号議案	令和7年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	//	//		
第100号議案	令和7年度福井市水道事業会計補正予算	//	//		●
第101号議案	令和7年度福井市簡易水道事業会計補正予算	//	//		
第102号議案	令和7年度福井市下水道事業会計補正予算	//	//		
第103号議案	令和7年度福井市集落排水事業会計補正予算	//	//		
第104号議案	福井市職員の給与に関する条例及び福井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	//	//		
第105号議案	福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	//	//		●
第106号議案	財産の取得について(福井市聖苑及び越廼診療所LED照明器具一式)	//	//		
第107号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	//	//		
第108号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	//	//		●
第109号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	//	//		●
第110号議案	教育委員会委員の任命について	//	同意		
第111号議案	公平委員会委員の選任について	//	//		
第112号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	//		
第35号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	12月1日	受理		
第36号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//		
第37号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//		
第38号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//		
市会案第11号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	12月18日	原案可決		●
下水道使用料の徴収処分に係る審査請求に関する諮問について		//	審査庁の見解に異議なし		●
請願第11号	〇TC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める請願書	//	不採択		●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 退…退席

※原則、議長(田中義乃)は採決に加わりません。

議案番号	会派名 議員名	審議 結果	一真会										市民クラブ					新政会			公明党		日本共産党	無所属									
			見谷 喜代三	皆川 信正	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	池上 優徳	寺島 恭也	榎原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	漆崎 與弘	佐野 弘	堀川 秀樹	村田 耕一	玉村 正人	酒井 良樹	高田 稔浩	宮岡 勝也	野嶋 祐記	奥島 光晴	伊藤 洋一	藤田 諭	田中 義乃	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	近藤 實	岩佐 武彦
12月定例会																																	
第71号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第81号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第84号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第87号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第88号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第90号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第93号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第100号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第105号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第108号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第109号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
市会案第11号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
下水道使用料の徴収処分に係る審査請求に関する諮問について	審査庁の見解に異議なし	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第11号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長の動静(令和7年10月～12月)

10月6日	全国競輪主催地議会議長会 正副会長等会議(東京都)
15日	福井県市議会議長会 中央要望活動(東京都)
21日	福井県自治会館組合議会 定例会 福井県後期高齢者広域連合組合議会 定例会
23日	中核市市議会議長会 総会(東京都)
24日	中核市市議会議長会 要望活動(東京都) 福井県市町議会議員合同研修会
27日	福井県市町総合事務組合議会 定例会
28日	全国競輪主催地議会議長会 役員会、臨時総会(高知県)
30日	北信越市議会議長会 理事会、評議員会(新潟県)
11月5日	全国市議会議長会 理事会、評議員会等(東京都) 全国市議会議員互助会 代議員会(東京都)
10日	都道府県庁所在都市議長会 定期総会(滋賀県)
13日	全国競輪主催地議長会 陳情行動(東京都)
14日	福井県市議会議長会 議員研修会(鯖江市)
17日～21日	アメリカ合衆国フラトン市訪問
27日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合 定例会(あわら市)

12月定例会

12月1日	本会議
2日	議会運営委員会
8日	議員全員協議会 本会議(一般質問)
9日	本会議(一般質問)
10日	議会運営委員会 本会議(一般質問) 議員全員協議会
11日	総務委員会 建設委員会
12日	教育民生委員会 経済企業委員会
16日	議会運営委員会
18日	議員全員協議会 議会運営委員会 本会議

定例会外の議会日程 (令和7年10月～12月)

10月1、2日	決算特別委員会
11月4日	議会運営委員会
14日	みちづくり・ひとづくり・まちづくり 対策特別委員会
25日	議員全員協議会

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
みちづくり・ひとづくり・ まちづくり対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課

TEL.0776-20-5510

編集後記

この度、福井市議会は市民の皆様とともに姉妹都市提携35周年を記念して、アメリカフラトン市を訪問させていただきました。

フラトン市との関係は、市民交流から始まりました。両市の関係者や両市民の尽力により受け継がれてきた絆、積み上げてきた歴史の重み、お互いの文化を市民の皆様とともに大切にしながら、これからも相互の交流を続けていきたいと思っています。

(編集委員 村田、高田)

》》》 次回は 》》》 3月定例会 です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

